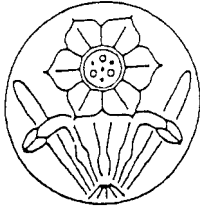


会報



すいせん

2002.4.30

77号

社団法人 福井県放射線技師会

発行者:真柄義一

編集責任者:南利昭

〒915-0068 福井県武生市天王町4-28 財団医療法人 中村病院内  
TEL(FAX)0778-22-0696

E-mail:fart@ma.interbroad.or.jp  
HP:http://www2.interbroad.or.jp/fart/

## 会 告

(社)福井県放射線技師会

会 長 眞 柄 義 一

### 平成13年度(第54回)定期総会開催

本会の定款第20条に基づき、平成13年度(第54回)定期総会を開催いたします。

記

1. 日時 平成14年5月26日(日)9時半より(9時受付開始)
2. 場所 福井県中小企業産業大学校 大教室  
福井市下六条町16-15(最後のページに地図あり) TEL 0776-41-3775
3. その他 欠席される方は委任状に署名捺印の上お送りください。

### 第54回 定期総会次第

開会の辞

会長挨拶

功労表彰 石田智広、池野 徹、津田清孝、  
野路育伸、花山新一、森 幸子

勤続20年表彰

前川晃一郎、平井 衛、木下不二夫、  
東村 享治、福島 哲弥、日比 武、  
紙本 龍一、金剛 宗孝、徳力左千男

感謝状の贈呈 清水 勲氏

資格審査委員及び総会運営委員選出

各々理事1名、構成員2名の計6名

議長選出

議長登壇

資格審査委員会報告

総会成立宣言(議長)

総会運営委員会報告

総会役員選出

書記2名、議事録署名人2名

議 事

第1号議案 平成13年度事業報告、庶務報告、決算報告、監査報告

第2号議案 平成14年度事業計画案、予算案

第3号議案 平成14年度・15年度の役員数について

第4号議案 スローガンの承認

第5号議案 その他

役員改選

理事、監事選出(昼食)

理事会開催

会長の承認

閉会の辞

# 平成13年度 事業報告

## 《総括》

今年度を振り返ると、暗い話題が多いと感じたのは私だけであろうか。2001年9月11日、ニューヨークにある世界貿易センタービルとペンタゴン国防総省の一部が爆破された同時多発テロ事件、日本では不況による失業率が12月末現在5.7%となり最悪の結果をもたらしている。

医療界においても例外でなく、2002年度医療制度改革の要旨には自己負担の引き上げ、診療報酬の引き下げ、高齢者医療制度の見直し等が盛り込まれ大変厳しい状況になってきている。このことは必要な検査の省略化に繋がるとともに、患者さん主体の医療から遠ざかる傾向になり、診療放射線技師の職場削減にもなりかねない。

このような中、12月1日に敬宮愛子様のご誕生されたことが唯一の光であり、心よりお慶びを申し上げます。

さて、今年度の事業では「新世紀に即応した組織づくり」をスローガンに、主な事業として緊急時被曝医療への対応、インターネットを利用した情報のリアルタイム化、学術研修の充実を中心に行ってきた。

特に緊急時被曝医療への対応については、今年度を通して講演会・研修会・GM管サーベイを用いた計測実習を開催して基礎知識の吸収を行うと同時に、本会として原子力防災訓練への参加と、その位置付として原子力防災訓練実施要項への参加・協力団体としての名称の記載を、県医師会、消防防災課、医務薬務課に要望した。

この結果、次回からの原子力防災訓練には県医師会との合同参加の確約を取付けることができる

とともに、3月30日(土)に行われた原子力防災訓練実施要項の中に参加協力機関として明記された。今後医療措置訓練協力団体として県と原子力災害協定を結ぶ手続きを踏み、平成15年度から正式に認められる予定である。

この事により、当然のことながら有事における責任が伴うことになるが、専門職団体の義務として本会の対応を確立する必要があり、会員各位のご協力をお願いするところである。

インターネットを利用した情報のリアルタイム化では、情報通信の面では初期の目的を果たしているが、リアルタイム化については多少問題の残るところである。また、公益法人の財務資料等をHPに掲載するディスクロージャーについても義務化され、定款・役員名簿等対応している面もあるが課題もあり、特に会員名簿の掲載については会員各位のご理解をお願いしたい。

学術研修では、昨年より実施している研修会方式(平日夜間の開催)に加え、新企画として宿泊学術セミナーならびに計測学講演と線量測定を開催したことで、より一層充実した。

また、7月7・8日に開催した中日本地域放射線技師学術大会では273名が参加するとともに、演題も過去最高の39題が発表され成功裡の内に終了でき当番県としての役割が果たせた。

これは、会員が一丸となって成し得たことであり、この場をお借りして会員各位を始め役員各位にお礼申し上げます次第である。

以下、各委員会の報告に委ね平成13年度事業報告の総括とする。

# 委 員 会 報 告

## 広報調査委員会

委員長 前川 晃一郎

本年度は、広報活動として3つの事業を行いました。

### リーフレット作成

平成12年度から、患者さんを対象として我々放射線技師が各検査にどの様にかかわり検査を進めるかという内容のリーフレットの第2弾（超音波検査）を発刊しました。

日常業務に活用して頂けたら幸いです。

### IT講習会

ホームページの開設にあたり、各会員の皆様から希望の多かったIT講習会を11月2日（金）ユアアイ福井にて開催しました。

講演内容：ワープロソフト(ワード)の使い方

講師：三谷商事(株)情報システム事業部

黒田 裕美先生

パソコンの都合上、人数制限があり会員の皆様大変ご迷惑をかけたことを、お詫び申し上げます。

### ホームページについて

平成13年6月からホームページがたちあがり、アクセス数も1000件を超えるようになりました。今年9月に総務省からインターネットによる公益法人のディスクロージャーとして“業務・財務等に関する資料”をホームページ上に公開するよう要請があり、3月にUPしました。会員の皆様にも参考にしてもらえればと思います。

今後、会員の皆様の情報交換、又勉強会や研究会などと連絡を密にし、情報社会に則した内容に上げていきたいと思っております。

## 地域医療対策委員会

委員長 石田 智広

福井市休日急患センターおよび大野市休日急患診療所における放射線業務の円滑な運営を行なう為に、以下のことを行なった。

1. 会員向け出務アンケートおよび出務会員、施設長への依頼文を発送した。
2. 出務者の割り振り作業を行なった。
3. 年間出務予定者の一覧表および個人別年間出務日程表を作成し、発送した。
4. オリエンテーションを開催した。
5. 出務予定者に対し、出務日の案内を葉書による直前連絡で通知した。
6. 年間業務量の調査を行なった。
7. 委員会専用インターネットホームページを立ち上げ、委員会情報、出務情報等を公開した。
8. 胸部の被曝線量を測定した。

福井市休日急患センター

- ・出務費の支払いを4半期ごとに銀行口座振込みした。
- ・年間撮影フィルムの画像評価を行ない、撮影条件等の検討を行なった。
- ・平成13年分の報償費支給明細書(源泉徴収票)を作成し郵送した。

大野市休日急患診療所

- ・新装置による撮影フィルムの画像評価を行ない、プログラム撮影条件の再検討を行なった。
- ・旧タイプのカセットがすべて新カセット（窓ありタイプ）に切換えられた。
- ・自現機等の機器管理を行なった。
- ・大野市に対して撮影設備充実のための要望を提出した。
- ・平成13年分の報償費支給明細書(参考金額)を作成し郵送した。

その他(源泉徴収税関連)

出務会員に対して、税務署への出務手当てに関する確定申告を促し、源泉徴収税納付への対応として以下の本年度分帳簿を作成した。

出務簿 口座振込みの記録簿 所得税源泉徴収簿 所得税納入高計算書兼領収書 報償費報告書 源泉徴収票・市町村提出用給与支払総括表 確定申告を勤める文書

## 組織調査委員会

委員長 津田 清孝

1. 今年度も全国放射線技師養成学校35校に対する、福井県出身在学生調査を行ないました。アンケートの結果、平成13年度卒業見込みの学生数は、16名在学でした。求人数は、7施設8名で、失業率の増加している社会情勢の中、放射線技師の職も例外ではなく、今年度も求人数よりも求職者が上回り厳しい状況が覗われます。できる限り多くの放射線技師の方へ求人情報を提供しようと努めてまいりました。求人等の情報がありましたら組織調査委員会の方までご連絡下さい。ご協力のほど宜しくお願い致します。
2. 生涯教育に関するポイント管理、会員の情報データベースの整備  
日本放射線技師会の定めたポイント数に従って福井県放射線技師会の主催する研究会に参加するごとにポイントを加算しております。
3. 福井県内の非会員に対する調査及び入会促進  
非会員に対し、入会案内を送付しました。
4. 学士、修士、博士の修得に関するアンケート調査  
学士、修士、博士号取得推進の一環として、現在の取得状況の把握を目的に行ないました。
5. 鈴鹿医療科学大学への入学案内を福井県内の県立高等学校20校に送付しました。

## 出版事業委員会

委員長 南 利昭

平成13年度（社）福井県放射線技師会雑誌を発行、会報を4回発行した。

学術研修委員会

委員長 福島 哲弥

平成13年度学術研修委員の事業内容は、3回の勉強会、テーマ『肝・胆・膵の基礎的な解剖学とその治療』と学術セミナー「リスクマネジメントセミナー」を行いました。また、県内の施設にて胸部撮影時の被曝線量と画質の評価を12施設で実施しました。

勉強会については、平日に行い、仕事で疲れているにもかかわらず多くの方に参加して頂けました。特に若い人の参加が増えており勉強意欲が感じさせられました。学んだ事を少しでも日ごろの業務に役立てていただき、技師間のコミュニケーションの場となれば良いかと思っています。

セミナーにおきましても、リスクマネジメントの必要性を十分ご理解頂けたのではないかと思います。参加者の皆様はご苦労様でした。

第1回 勉強会 (参加人数 63名)

場 所：福井県立成人病センター 研修室

時 間：平成13年6月20日 18：30～20：30

内 容：テ ー マ『肝・胆・膵の基礎的な解剖学とその治療』

非血管系 (non-vascular) における診断と治療

特別講演

「経乳頭的治療の現況について」

福井県立病院 外科医長 林 裕之 先生

会員発表

「ERCPにおける解剖と撮影について」

福井県立病院 放射線室 笠原 茂

「胆道系の基礎的な解剖学と撮像学」

- M R C Pを中心に -

福井赤十字病院 放射線科部 平木 美和

第2回 勉強会 (参加人数 40名)

場 所：市立敦賀病院 東棟4F 大会議室

時 間：平成13年11月14日 (水曜日) 18：30～20：30

内 容：テ ー マ『肝・胆・膵の基礎的な解剖学とその治療』

内科的治療 - PEIT・PMCTなど - を中心に

特別講演

「肝疾患の診断と治療」

市立敦賀病院 内科 (消化器科)

医長 太田 肇 先生

会員発表

「肝・胆・膵の基礎的なルーチン検査について」

福井県超音波研究会 木村 裕治

「肝・胆・膵に関わる基本的なラボデータの  
見方について」

市立敦賀病院 放射線科 小林 正彦

第3回 勉強会 (参加人数 74名)

場 所：福井県済生会病院 2F 医師会交見室

時 間：平成14年2月20日 (水曜日) 18：30～20：30

内 容：テ ー マ『肝・胆・膵の基礎的な解剖学とその治療』

- 血管系 (vascular) における診断と治療 -  
特別講演

「肝・胆・膵領域の血管系 I V R」

福井県済生会病院 画像診断センター

所長 宮山 士朗 先生

会員発表

「肝・胆・膵の基礎的な血管解剖学について」

福井医科大学 放射線部 福島 哲弥

「CTにおける肝・胆・膵の解剖」

高村病院 (鯖江) 江端 清和

学術リスクマネジメントセミナー (参加人数 60名)

時 間：平成13年9月29日 (土) 17：10～19：00

場 所：福井県中小企業産業大学校 1階特別教室

内 容：テ ー マ：『新しい時代に対応するリスク  
マネジメント作り』

特別講演『放射線部門のリスクマネジメント』

講 師 横浜市立大学医学部附属市民総合  
医療センター

放射線部 技師長 天内 廣 先生

パネルディスカッション

テ ー マ：『新しい時代に対応したリスク  
マネジメント作り』

1、技師が起こす医療事故とは何か

福井県 済生会病院 画像診断センター

清水 勲

2、ヒヤリハットとは何か、ヒヤリハット報  
告がなぜ必要か

武生市 中村病院 真柄 義一

3、本院におけるリスクマネジメント

福井県立病院 放射線室 小川 吉一

4、本院におけるリスクマネジメント

福井医科大学附属病院 放射線部

杉本 勝也

懇親会、座談会

被曝線量測定班の活動内容

構 成 員 福島 哲弥、竹沢 博人、木村 幸治

目 的 福井県下における撮影部位ごとの患者  
被曝線量の測定と画質評価を行い、県  
下における患者被曝線量の把握と管理  
を行い、施設間での過度の被曝、画質  
のばらつきを無くし安定した患者情報  
を提供できるようにする事です。

活動内容 去年作成した、胸部撮影での被曝線量  
測定方法と画質評価方法を元に、県下  
12施設において現状での被曝線量測定  
と画質評価用胸部ファントムの撮影を  
行いました。県下の全施設にては行っ  
ていませんが、途中経過を会誌にてご  
報告させて頂きました。

## 福利厚生委員会

委員長 山崎 巖

### 北陸3県放射線技師野球大会

7月28日、石川県野々市町民野球場で本大会が開催されました。汗がにじむ暑い1日でした。選手、応援の皆様には大変御苦労様でした。結果は3位でした。今年も選手層が薄く、反省点としては新戦力の補強と練習の強化です。今後とも代表選手への皆様からのエールをお願いします。

### イカ釣り大会

8月10日、少雨でしたが、17名で敦賀漁港を出発しました。漁場は荒れ気味で、参加者には大漁を味わってもらえませんでした。今後も沢山の方に参加してもらえるような企画を考えていきます。

### 計測学講演会

11月18日、済生会病院にて開催しました。渡部洋一先生、金森勇雄先生をお迎えし、法令改正の主な内容、被曝線量の測定ならびに評価で御講演を賜りました。その後、GMサーベイメーターでグループ実習を行いました。緊急被曝医療に参入するために、今後も会員のレベルアップが必要と考えます。

### 地区別ボーリング大会

3月5日、アルブラザボウルにて34名、3月7日、平和ボウルにて17名の参加者で開催しました。今回、嶺北は丹南地区にて開催し、嶺北嶺南で親睦会も企画しました。

## 庶務報告

会員数	247名(平成14年4月1日現在)	
新入会	角 常彦	木村病院(金津)
	高原 稔	木村病院(金津)
	三田 美千代	西浦病院
	北野 陽子	光陽生協病院
	宇野 裕之	佐藤整形形成外科病院
転入	地村 一彦	高浜病院 京都府技師会より
	山下 浩司	"
	海透 史郎	"
転出	川本 秀一	大阪府技師会へ
退会	森田 勝	

### お詫びと訂正

すいせん76号に記載されました内容に誤りがありました。

転入 村山 守 兵庫県より国立療養所敦賀病院  
謹んでお詫び申し上げます。

## 第7回 理事会議事録

平成14年2月27日

於：中村病院会議室

会員数：241名(平成14年2月27日現在)

### 【報告事項】

#### 日放技創立55周年について

記念式典は、2月22日(金)に14時より開催され、会長挨拶・大臣祝辞に続き受賞式が行われ清水 勲 前会長が無事受賞されました。

この創立55周年に際し、全国各県技師会が申し合わせをして、お祝いを各県同一額の2万円したので了解を得たい。

### 【了 承】

#### 平成13年度第1回日放技評議会について

2月23日(土)銀座キャピタルホテル会議室において開催された。

#### 議事内容

- 1) 平成13年度会員の入退会状況について
- 2) 都道府県技師会会費納入状況について
- 3) 賠償責任団体保険の加入状況について
- 4) 医療放射線安全管理に関する検討会(厚生労働省)について
- 5) 平成13年度生涯教育セミナーについて
- 6) 認定講習会について

- 7) 平成13年度民間給与調査について
- 8) 会員現状調査および実態調査について
- 9) 平成13年度第59回総会について
- 10) 創立55周年記念事業について
- 11) 平成14年度新潟学術大会について
- 12) 会員親睦ゴルフ大会について
- 13) 平成15年度学術大会開催地について

#### 平成13年度原子力防災訓練(3月30日開催)について

2月13日標記訓練事前打合わせが行われ、県医師会からの医療措置訓練参加は1班(昨年3班)であり、一次スクリーニングは含まれず医師1名、看護師2名、事務2名が参加することになった。

この為、一次スクリーニングへの医師会との合同参加は見合わせる事になった。

しかしながら、医療施設単位で放射線技師が参加している実績や、県への協力団体としての参加要望を行った成果から、防災訓練要項の医療措置訓練参加協力団体として本会が明記されることになった。(医師会からの報告)

平成14年度中日本地域放射線技師学術大会  
について

先日の案内のとおり、標記学術大会が7月6  
(土)~7日(日)静岡県浜松市で開催される。

【了 承】

議題1.平成13年度(第54回)定期総会について

議題2.各委員会報告

議題3.第1回施設放射線安全測定研究会について

## 第8回 理事会議事録

平成14年3月20日

於：中村病院会議室

会員数：247名(平成14年3月20日現在)

### 【報告事項】

平成14年度新潟学術大会について

10月11日(金)から13日(日)まで  
開催される標記学術大会の、参加券18枚と  
懇親会券4枚の割当分がきている。

すいせん76号のお知らせ欄に掲載した  
が、事前登録〆切8月31日までに完売する  
よう参加促進をお願いしたい。

清水前会長からの10万円の寄付について

厚生労働大臣表彰受賞を記念して、本会に  
10万円の寄付があったので報告する。

議題1.平成13年度(第54回)定期総会について

総会次第(案)について

総会役員の選出について

議題2. ADSL設置とプロバイダーの変更につ  
いて

ADSLの設置については、見送る。

【承 認】

議題3.各委員会報告

## 平成13年度監査報告

社団法人 福井県放射線技師会

会長 真柄 義一 殿

平成14年度4月10日(水)13時より、福井市保健センターにおいて、会計および会務執行状況について監査  
したところ、関係諸帳簿等の記載並びに現金出納に過誤はなく、会務の執行が適宜且つ滞りの無い事を認めます。

平成14年4月10日

社団法人 福井県放射線技師会

監事

監事

## (社)福井県放射線技師会財産台帳(備品)

取得年月日	品 名	摘要	廃棄年月日
1974	印箱	購入	
1975	ナンバーリングスタンプ	購入	1996・6
1978	レターケース	購入	1996・6
1979	会旗	山本信次郎氏寄贈	
1981	プロジェクター	大橋 基氏寄贈	1996・6
1982	映写用スクリーン	橋本 剛氏寄贈	1996・6
1984	レントゲン博士ブロンズ像	(株)コニカメディカル寄贈	
1985	スライドホルダー	中村 昭満氏寄贈	
1988	救急箱	購入	
"	NECワープロ(文豪3V2)	土谷 重男氏寄贈	
1990	コピー機(CANON FC1/2)	中村 昭満氏寄贈	
1993	野球ユニホーム一式	山本 稔氏寄贈	
"	書籍箱	中村 昭満氏寄贈	
1995	会旗一式	山本 信次郎氏寄贈	
1998	NECパソコン パリユースターNXVS20C	山本稔・岡田時治氏寄贈	
1999	サーベイメーター(電離箱式)	購入	
2000	Panasonic FAX付電話 KX-PW16CL	大西 信蔵氏寄贈	
"	NEC ISDNターミナルアダプター Aterm IT20D	大西 信蔵氏寄贈	
"	EPSON レーザープリンター LP-8300	伊藤医療器株式会社殿寄贈	
"	事務用机	伊藤医療器株式会社殿寄贈	
2001	クーラーBOX	購入	

## (社)福井県放射線技師会財産台帳(図書、ビデオ)

品名	著者	摘要
明日への旅立ち	中村 實著	
今日の課題	中村 實著	
対話と人間	日本放射線技師会編	
放射線技師の挑戦	日本放射線技師会編	
赤灯の下	松 陽子著	
CTシステム入門	日本放射線技師会編	
労働衛生一般関係法令	日本作業環境測定協会	
骨格X線解剖学	中村 實監訳	
医療放射線管理のための様式集	日本放射線技師会編	
医療用放射線の安全取扱	石坂 正綱著	
NMRの理論と臨床	日本放射線技師会編	
沈黙の医療戦士	日本医療技術団体協会	
35年誌	日本放射線技師会編	
姿勢、展望	中村 實著	
日本人の生活と放射線	菅原 努著	
放射線技師のパーシェントケア	日本放射線技師会編	
患者さんへの思いやり	日本放射線技師会編	
放射線技術臨床実習の手引	小島迪子・小笠原哲著	
実践英会話	日本放射線技師会編	
医療に心を	日本放射線技師会編	
提言(放射線技師の21世紀への布石)	日本放射線技師会編	
研修100回記念誌	福井県総合画像研究会	
チーム医療と放射線技師	日本放射線技師会編	
35周年記念誌	石川県放射線技師会	著者寄贈
35年のあゆみ	山梨県放射線技師会	著者寄贈
40年のあゆみ	東京都放射線技師会	著者寄贈
リーダーとしての私の考え	東京都放射線技師会	著者寄贈
明日への響	東京都放射線技師会	著者寄贈
21世紀の胎動	中村 實著	
生涯教育テキスト1-6	日本放射線技師会編	
臨床実習指導者としての自覚	日本放射線技師会編	
新しい「医薬税制」	医薬税制研究会	
右脳クラシック鑑賞法	品川 嘉也	
医療に貢献する放射線技師	V 日本放射線技師会	
胃X線検査(1)	V 日本放射線技師会	
プライマリ・ケアにおける頭部CTの読み方a-c		(K)エーザイ寄贈
放射線技師のインフォームドコンセントa,b		(K)エーザイ寄贈
CT検査を受けられる方へ		(K)エーザイ寄贈
MRI検査を受けられる方へ		(K)エーザイ寄贈
画像診断と造影剤		(K)エーザイ寄贈
明日に刻む対話	中村 實著	
平成の大学	中村 實著	
MRI検査を受けられる患者さんへ	V 日本放射線技師会	
医用放射線計測学	中村 實監修	金森 勇雄氏寄贈
50周年記念誌	群馬県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	茨城県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	東京都放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	山形県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	北海道放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	大阪府放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	兵庫県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	山梨県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	福岡県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	宮城県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	宮崎県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	山口県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	長野県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	京都府放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	富山県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	三重県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	栃木県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	静岡県放射線技師会	著者寄贈
健康政策六法(平成14年度版)	医療法制研究会	日放技寄贈
医療法人のための税務調査対策	中央経済社	著者寄贈
公益法人の税務	公益法人協会	購入

# 平成14年度 事業計画案

## 《総括》

早いもので、定款の改定に伴い新執行部体制となり1期2年が経過した。

この2年間、組織の基盤づくりとして執行部の体制を整え、より充実した事業推進と効率化を図るとともに、Eメール・ホームページを利用して会員相互の連携を深めるなど、高度情報化時代に即応した組織づくりを目指し、ほぼ満足する結果が得られたと思っている。

今年度は、この基盤をもとに私たちの役割である放射線管理、医療被曝線量の低減、放射線機器管理の推進、本会の事務所の取得等の各論的なテーマを持って事業を推進し、問題を一つひとつ解決することによって、患者さんから信頼される技師会を目指し社会的評価を得ていくことに主願を措きたい。

このような観点から、今年度のスローガンを「皆で取り組もう！放射線安全管理の実践」とし、昨年より取り組んでいる「放射線災害時の対応」ならびに「放射線管理」の確立を目的に、放射線安全管理委員会を設置してこの対応にあたっていきたいと考えている。

放射線災害については、昨年11月7日に浜岡原発の蒸気配管破断事故が起きた。関係者は「予測できない現象のために起こった事故」と

コメントしたことで裏付けられるように、安全性についてはまだまだ疑問の残る所であり、本委員会では特に、放射線災害時における緊急時対応体制を構築し、これに対応するために必要な知識を習得する研修会の企画・開催や連絡網の確立など、間近に迫る県との原子力災害協定に備えなければならない。

放射線管理については、平成13年全国放射線技師総合学術大会時に、医療放射線使用施設の安全管理を目的として「施設放射線安全測定研究会」が発足し、4月13日（土）・14日（日）の両日教育センターで第1回の研究会が開催された。本会としても、全国と歩調を合わせた管理を行なうため、またその情報を得るために積極的に参加し安全管理を行なう必要がある。

以上のように、放射線安全管理を行なって行くためには、会員一人ひとりの理解と協力が肝要であり、（社）日本放射線技師会認定の放射線管理士を一人でも多くの会員が取得され、放射線管理事業への協力を切にお願いするところである。

以下、各委員会の報告に委ね平成14年度事業計画案の総括とする。

平成14年度スローガン

皆で取り組もう！放射線安全管理の実践



# 平成14年度各委員会事業計画案

## 広報調査委員会

本委員会はリーフレット作成の第3弾として“胸部X線検査編”を予定しています。

今後更に6部門での発行予定です。

ホームページ開設にあたり今現在、会員専用となっておりますが、本年度は、一般市民向けのページも考えております。内容が決まり次第、UPする予定です。

IT講習会

昨年度に引き続き、IT講習会を開催する予定です。詳細は日程が決まり次第お知らせ致します。

## 地域医療対策委員会

福井市休日急患センターおよび大野市休日急患診療所における放射線業務が円滑に遂行できるようサポートする。

- ・平成13年度業務量の統計管理と行政関係への報告書等作成
- ・撮影フィルムの画像評価チェック(撮影条件等の検討)
- ・報償費支給明細書関連簿の作成と確定申告の勧め
- ・大野市に対して撮影設備充実のための要望
- ・出務割当関連作業と年間及び直前出務連絡用の個人宛出務日通知の発送
- ・オリエンテーションの開催
- ・インターネットホームページの委員会情報や出務情報の提供とより一層の充実
- ・「休日急患業務出務者の集い」の開催
- ・その他(機器管理, 口座振込等etc)

## 組織調査委員会

1. 全国放射線技師養成学校に対する在学生調査
2. 非会員に対する調査及び入会促進
3. 求人・求職の情報の収集
4. 会員の情報データベースの整備・生涯教育ポイント管理
5. 雇用促進に関する調査

## 学術研修委員会

昨年度の勉強会は平日の夜、土曜日のセミナーとお仕事で疲れているにもかかわらず多くの意欲ある人たちが参加して頂き、ありがとうございました。本年度もできるだけ多くの皆さんに参加して頂けるように下記の企画を考えました。会員の皆様には日常業務と学術的な勉強会等にお忙しい事と思いますが、ご協力と参加の程よろしくお願いいたします。

### 1、勉強会の開催

今年度のテーマ『頭部領域の基礎的な解剖学とその治療』

第1回(6月) - 脳のCT、MRで見る解剖 -

第2回(11月) - 脳の機能とその支配領域 -

第3回(2月) - 血管系(vascular)における診断と治療 -

### 2、セミナーの開催(9月)

内容 - 未定 -

### 3、被曝線量測定の実施(6月~2月)

13年度にひきつづき、県内の希望される施設に対して胸部撮影時の患者被曝線量(表面線量)を測定し画質の評価を行う。また、その結果と今後の検討事項をまとめ、各施設にその結果をフィードバックする。

## 福利厚生委員会

以下の通り、会員相互の連携親睦を図るため企画立案いたします。

- |     |  |
|-----|--|
| 7月  | 北陸3県放射線技師野球大会<br>選手枠拡大のために各個人へ直接呼びかけます。<br>練習を企画します。 |
| 9月  | 秋のレクリエーション   |
| 11月 | 地区別ボーリング大会<br>嶺北 福井、嶺南 敦賀にて行います。                     |
| 3月  | 親睦旅行   |

## 放射線管理委員会

新たに発足する放射線管理委員会は、医療における放射線管理を主な目的としており、特に今年度は、緊急被曝医療への参画のための体制づくりや医療施設における漏洩線量測定法の検討など、福井県放射線技師会としての放射線管理に対する基礎づくりを行ないます。また、日本放射線技師会に昨年発足した施設放射線安全測定研究会に参加し、情報の収集を行なっていきます。

## 出版事業委員会

平成14年度(社)福井県放射線技師会雑誌を発行、会報(すいせん)を4回発行予定。  
会員の新鮮な企画等を取り入れていきたい。

## 平成13年度 (社)福井県放射線技師会 決算書

歳入の部

平成13年4月1日～平成14年3月31日

科目	項目	平成13年度 予算額 (イ)	平成13年度 決算額 (ロ)	差異 (ハ)=(ロ)-(イ)	摘要
会費		1,530,000	1,590,000	60,000	
	正会員	1,155,000	1,200,000	45,000	会員の増加
	賛助会員	375,000	390,000	15,000	1社新規加盟〔合計26社〕
寄付金		0	110,000	110,000	山本信次郎氏1万円、清水勲氏10万円
雑収入		400,300	440,386	40,086	
	広告料	400,000	440,000	40,000	
	利息	300	386	86	
受託料		3,054,142	3,054,142	0	
	急患センター業務受託料	3,054,142	3,054,142	0	福井市医師会、大野市役所
補助金		0	0	0	
繰越金		401,691	401,691	0	
			0	0	
収入合計		5,386,133	5,596,219	210,086	

## 平成13年度 (社)福井県放射線技師会 決算書

歳出の部

科目	項目	平成13年度 予算額 (イ)	平成13年度 決算額 (ロ)	差異 (ハ)=(ロ)-(イ)	摘要
事業費		4,193,200	3,993,200	200,000	
	組織調査費	40,000	40,000	0	
	学術研修費	170,000	170,000	0	
	広報調査費	140,000	140,000	0	
	会誌会報発行費	800,000	800,000	0	
	福利厚生費	150,000	150,000	0	
	地域医療対策費	220,000	220,000	0	
	中日本学術大会協力費	23,100	23,100	0	会員数 231名×100円
	急患センター業務費	2,450,100	2,450,100	0	福井市急患センター手当分
	中日本学術大会基金	200,000	0	200,000	
会議費		290,000	273,381	16,619	
	総会費	130,000	130,000	0	
	理事會費	100,000	106,281	6,281	
	委員會費	20,000	0	20,000	
事務費		500,000	453,986	46,014	
	印刷費	120,000	102,527	17,473	
	消耗品費	50,000	47,244	2,756	
	通信費	300,000	290,783	9,217	
役員報償		30,000	0	30,000	
	監事報償	30,000	0	30,000	外部監事1名分
旅費		120,000	79,680	40,320	
	役員会旅費	100,000	79,680	20,320	
	一般旅費	20,000	0	20,000	
管理費		104,000	43,116	60,884	
	事務所借料	24,000	24,000	0	
	租税公課	20,000	0	20,000	法人税
慶弔費		60,000	19,116	40,884	登記、各種証明等
	役務費	60,000	19,116	40,884	
慶弔費		80,000	134,453	54,453	
予備費		68,933	50,000	18,933	
合計		5,386,133	5,027,816	358,317	

繰越金 5,596,219 - 5,027,816 = 568,403

## 平成14年度 (社)福井県放射線技師会 予算書(案)

歳入の部

科目	項目	平成14年度 予算額 (イ)	平成13年度 予算額 (ロ)	増減 (ハ)=(イ)-(ロ)	摘要
会費		1,595,000	1,530,000	65,000	
	正会員	1,205,000	1,155,000	50,000	会員 5,000円×241名
	賛助会員	390,000	375,000	15,000	15,000円×26社
寄付金		0	0	0	
雑収入		400,300	400,300	0	
	広告料	400,000	400,000	0	
	利息	300	300	0	
手数料		240,000	3,054,142	2,814,142	
	休日急患診療所業務委託手数料	240,000	3,054,142	2,814,142	大野市役所
補助金		0	0	0	
繰越金		568,403	401,691	166,712	
			0	0	
収入合計		2,803,703	5,386,133	2,582,430	

## 平成14年度 (社)福井県放射線技師会 予算書(案)

歳出の部

科目	項目	平成14年度 予算額 (イ)	平成13年度 予算額 (ロ)	増減 (ハ)=(イ)-(ロ)	摘要
事業費		1,474,100	4,193,200	2,719,100	
	組織調査費	40,000	40,000	0	
	学術研修費	170,000	170,000	0	
	広報調査費	140,000	140,000	0	
	会誌会報発行費	800,000	800,000	0	
	福利厚生費	150,000	150,000	0	
	地域医療対策費	20,000	220,000	200,000	
	放射線管理費	110,000	0	110,000	委員会新設
中日本地域放射線技師 学術大会協力費	24,100	23,100	1,000	100×241名	
会議費		340,000	290,000	50,000	
	総会費	180,000	130,000	50,000	
	理事會費	100,000	100,000	0	講師招聘予定
	委員會費 代表者會議費	20,000 40,000	20,000 40,000	0 0	
事務費		380,000	500,000	120,000	
	印刷費	80,000	120,000	40,000	
	消耗品費	20,000	50,000	30,000	
	通信費 雑費	280,000 20,000	300,000 30,000	20,000 10,000	
役員報償		30,000	30,000	0	
	監事報償	30,000	30,000	0	外部監事1名分
旅費		140,000	120,000	20,000	
	役員會旅費 一般旅費	100,000 40,000	100,000 20,000	0 20,000	
管理費		104,000	104,000	0	
	事務所借料	24,000	24,000	0	
	租税公課 役務費	20,000 60,000	20,000 60,000	0 0	法人税 登記、各種証明等
慶弔費		80,000	80,000	0	
事務局整備費		200,000	0	200,000	
予備費		55,603	68,933	13,330	
合計		2,803,703	5,386,133	2,582,430	

## 平成14年度 (社)福井県放射線技師会 地域医療対策特別会計予算書(案)

歳入の部

科目	項目	平成14年度 予算額 (イ)	摘要
受託料		2,789,462	
	急患センター業務受託料	2,789,462	
寄付金		0	
	寄付金	0	
雑収入		300	
	利息	300	
補助金		0	
繰越金		0	
収入合計		2,789,762	

## 平成14年度 (社)福井県放射線技師会 地域医療対策特別会計予算書(案)

歳出の部

科目	項目	平成14年度 予算額 (イ)	摘要
事業費		2,576,650	
	出務費	2,426,650	
	研修会費	50,000	
	広報費	50,000	
	備品購入費	50,000	
会議費		50,000	
	会議費	50,000	
事務費		150,000	
	印刷費	30,000	
	消耗品費	20,000	
	通信費	50,000	
	送金費	50,000	
予備費		13,112	
合計		2,789,762	

第54回定期総会会場地図

